

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	あしゆびプロジェクト事業(子育て応援課)	担当課名	子育て応援課
-----	----------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、あしゆび・体幹を鍛える取り組みなどを通じた身体能力の向上を図ることにより、子どもの健やかな育ちの環境を整えることを目的とする。

(事業概要等)

幼稚園等でおこなわれる体験入園等の事業にスポーツ指導員が出向き、子ども向けのあしゆびを使った運動や、親子あそびを実施する。その中で、子どものあしゆび力をつけることの大切さや、日常生活での注意点やポイントを説明し啓発するとともに、保護者に対しても同様に運動習慣の動機づけとなるような介入をおこなう。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	801	190	209	302	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
運動あそび教室参加者数	人	140	71	88	120

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

参加者へのアンケート調査の結果(回答者42名)、全員が「本教室を通じて運動・スポーツを始めたいと思った」と回答。また、「足のゆびを鍛えることについて関心があったか」に、「関心がある」と回答した割合が、教室開始前の90%に対し、教室終了後は97%に増加。「子どものあしゆび力をつけることの大切さ」の理解促進とともに、運動習慣の動機づけに結びつけることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から幼稚園の体験入園中止継続に伴い、令和3年度は、就園前の親子が集う地域の子育て広場(おやこ広場6か所)で実施した。各広場の広さや定員等によりプログラムを変更するなど、実施内容について臨機応変に対応した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	地域の新型コロナウイルス感染状況に応じた実施方法で、感染予防対策を行いながら安全に実施できるよう検討する必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) あしゆび力をつけることの大切さを周知し、子どもの身体能力の育成・向上を図るため、継続して実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	こどもの居場所づくり事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、こどもの居場所づくりを実施する者を支援することにより、こどもの健全な育成を図るとともに地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。

(事業概要等)

家庭的、経済的に様々な事情を抱えた子どもたちが、自己肯定感を高め、将来に希望が持てるよう、食事や学習支援、団らんの場の提供による地域での居場所づくりを行う者に対し補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	739	613	833	1,480	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
こどもの居場所数	か所	10	10	11	12

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

学習支援及び、食事提供を含めたこどもの居場所づくりを実施する者への補助金の交付を通じて、支援を要する子どもたちの地域での居場所づくりを進めることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	各団体の活動について把握するための連絡会を書面にて開催し、情報共有を図ることができた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	こどもの居場所のある地域に偏りがあり、市内全域に増やす必要がある。
---------	-----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) こどもの居場所の安定、継続した運営を目指し、今後も支援を継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ひとり親家庭医療助成事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、医療費の一部を助成することによりひとり親家庭に対し経済的支援を行うとともに、生活と児童の健全な育成を図ることを目的とする。
(事業概要等)
ひとり親家庭に係る医療費について、一医療機関あたり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円。所得制限あり。)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	57,383	47,667	50,996	54,206	
うち市負担分(千円)	26,995	21,062	25,814	26,972	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
年間助成延べ件数	件	21,985	16,965	18,792	-
年間助成総額	千円	55,802	46,380	49,616	-
助成1件あたりの額(助成総額／助成延べ件数)	円	2,538	2,733	2,640	-
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
ひとり親家庭の経済的な支援として不可欠なものであるが、その事業効果を数値化して計ることが難しい。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	家族形態の多様化といった近年の社会情勢の変化により、今後対象者が増え、市の財政負担が増加していく可能性がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ひとり親家庭の自立に向けた安定した生活には不可欠な事業であり、また、府の補助事業として府内一律で実施しているものであるため、継続して実施していく。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	ファミリーサポートセンター事業	担当課名	子育て応援課
-----	-----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、ファミリーサポートセンター事業により子育て支援サービスの充実を図り、仕事と子育ての両立を支援することを目的とする。
(事業概要等)
育児の手助けをして欲しい「依頼会員」と、手助けをしたい「提供会員」による会員同士の相互援助活動を行うファミリーサポートセンターの運営を社会福祉協議会へ委託するもの。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	9,382	9,721	10,128	11,079	
うち市負担分(千円)	7,116	7,855	8,262	9,213	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
活動件数	件	273	140	214	250
会員数	人	564	518	520	600
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
育児サービスの提供者と育児サービスの依頼者のニーズをもとに、活動することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	事業を行う上で、特に提供会員の登録を増やす必要があることから、依頼会員のうち子どもの年齢到達などにより依頼会員でなくなった会員に、提供会員になっていただくよう案内することなどを検討した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	子どもを預かってくれる会員(提供会員、両方会員)の登録が少ない。 講習会への参加が少ない。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 市が実施する子育て支援事業と位置づけ、育児と仕事が両立できる環境を整える等さらなる充実を図ることが望まれるため。
改革・改善策等の具体的内容	提供会員・依頼会員の双方を増やすため、それぞれの生活スタイルやニーズを調査・分析し、アプローチ方法について検討する。提供会員に関しては比較的若い層へのアプローチとも検討する。 提供会員の登録が少ない要因について、より詳細な分析を行う。 会員間交流や意見交換、提供会員が研修を受講しやすい環境を整える。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり
事業名	子ども医療助成事業		担当課名	子育て応援課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもの医療費の一部を助成することにより、子育て世帯へ経済的支援を行うことにより、子どもの健康の向上と福祉の増進を図り、子どもを安心して産み育てるための環境づくりを推進することを目的とする。

(事業概要等)

中学3年生修了までの子どもに係る通院及び入院医療費について、一医療機関当たり1日500円の自己負担を上限に公費で助成する。(同月同病院であれば月2回まで自己負担額が発生。自己負担額について、上限月2,500円)

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	271,330	205,177	232,837	252,704	
うち市負担分(千円)	222,417	164,227	185,899	191,376	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
年間助成延べ件数	件	133,186	92,838	110,833	-
年間助成総額	千円	262,707	199,001	225,809	-
助成1件当たりの額(助成総額／助成延べ件数)	円	1,972	2,143	2,037	-
(指標を設定できない理由)					
必要な者に必要な額を助成する事業のため、目標値の設定になじまない。					
(成果の概要)					
子育て世帯にとって、医療費に係る負担は大きなものであり、その一部を助成することは子育て支援施策として有効なものであるが、その効果を数値化して計ることは難しい。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	段階的に対象年齢を引き上げている 平成25年10月 通院:小2まで 入院:小6まで 平成26年7月 通院:小3まで 平成27年4月 通院:小6まで 平成28年4月 入院:中3まで 平成30年4月 通院:中3まで
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	子育て世帯の受診に係る経済的負担の軽減により、早期受診を促し重症化防止にもつながっているものと考えますが、市単費分も増加しており、財源の確保が困難となっている。また、市町村事業であるため、住んでいる市町村によって格差が生じることとなる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 子育て支援として効果があり、有意義な施策であるため継続して実施していく。
改革・改善策等の具体的内容	平成30年4月より、通院医療費助成の対象を中3まで拡大した。 全国の市町村で格差があるため、国の制度として確立し、全国一律となるよう国・府へ引き続き要望していく。 また、令和4年10月に、対象年齢を満18歳までに引き上げる。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供
事業名	障がい児通所支援施設処遇改善事業	担当課名	子育て応援課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、関係機関との連携を図り、障がい児及び発達障がい児の成長段階に応じた支援体制を充実させるため、児童通所支援センター(障がい児通園施設)及び発達障がい児療育等支援事業所へ補助金を交付することにより、入所児童の処遇改善、療育内容の充実及び円滑な運営を図ることを目的とする。

(事業概要等)

障がい児通所支援施設への入所児童数に応じ、その処遇改善のための補助金を交付する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,520	8,820	7,445	8,310	
うち市負担分(千円)	2,400	6,300	4,725	5,250	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
センター利用児童数	人	10	12	9	10
事業所利用児童数	人	18	18	16	18
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本格的な早期療育の機会を提供することにより、子どもたちの将来にわたる自立の促進に寄与することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	当施設の利用機会が得られるように、積極的に情報発信し、進路指導に努めている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	当施設が本市から遠方にある。
---------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 本市の子どもたちが当施設に通うことが、子どもの自立促進や家族のケアにつながり、それ以後の進路指導もスムーズに受け入れできているため。令和5年度以降は対象児の減少が見込まれる。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	発達支援事業	担当課名	子育て応援課
-----	--------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、子どもを安心して産み育てられる環境づくりとして、発達障がい児の成長段階に応じた一貫した支援体制(妊娠・出産・子育てシームレスケア体制)の充実を図ることを目的とする。

(事業概要等)

発達支援シームレスケア体制構築のため、①発達に支援を要する子どもへの早期気づき・早期支援、②発達障がいの理解、③家族支援、④切れ目ない支援体制づくりを基本方針とし、発達相談や出張相談、教室などの相談支援事業や、家族支援のためのペアレントトレーニング、人材育成のための巡回相談や研修会を実施。また周知、啓発のための講演会や、切れ目ない支援体制構築のための発達支援ネットワーク会議等の開催、情報の一元化のための「わたしノート」の作成と活用などを行う。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,631	2,444	2,765	4,715	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
発達相談件数	件	673	629	638	640
1歳6か月児健診後の発達フォロー教室(わんわん教室)参加実人数	人	33	42	50	50
わたしノート配布数	人	25	51	108	110

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

①発達の早期気づきと早期発達支援:2歳半育児相談会の開催により早期の気づき・早期支援開始を行う体制の充実を図ることができた。②発達障がいの理解の促進:発達障がい啓発ちらしを健診等で配付し、啓発・周知・人材育成(研修)をすすめることができた。③家族支援:ペアレントトレーニングや親の会、家族交流会を実施。④切れ目ない支援体制づくり:「わたしノート」(サポートブック)の発行による情報の一元化や、小学校や教育委員会などの教育機関との調整により、早期の気づきから学童期に渡る切れ目ない支援体制の強化を図った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	「発達支援担当」設置により、子どもの発達支援を他部門、他機関と連携して、切れ目ない支援していく体制を構築するとともに、「わたしノート」の活用促進や就学前後の支援情報のつながりを強化。現在、新型コロナウイルス感染防止により、発達支援教室を縮小しているが、感染対策をとりながらも事業の効果が見込まれる方法へ実施方法を変更した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	教育関係機関との連携による継続的な支援体制の確立、療育体制の整備などが課題。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 発達に支援を要する親子の切れ目ない支援を実現させるためには、当該事業の実施は必須であり、基本施策①～④の取り組みの拡充、強化を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的な内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	母子健康管理事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、母子及び乳幼児の健康管理についての相談支援体制等を充実し、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを推進することを目的とする。

(事業概要等)

母子健康手帳交付、両親教室、離乳食講習会、子育て広場、育児相談、家庭訪問、不妊に悩む方への特定治療助成、産後ケアなどの事業を通し、妊娠期から子育て期まで継続した相談支援を行い、不安なく出産、子育てができるよう関係機関と連携し、支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,150	6,156	7,465	7,627	
うち市負担分(千円)	17	1,245	3,795	4,973	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R03年度 目標値
母子健康手帳発行数	人	624	585	522	550
「応援レター」を送付した妊婦で、こんにちは赤ちゃん訪問時の質問票で「育児は楽しいと思うか」で「楽しい」と答えた人の割合	%	88	90	88	90
訪問指導(妊産婦、乳幼児)	件	1,321	1,329	1,238	1,300

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

妊娠届出時の全数面接や妊娠応援レターの送付、家庭訪問や育児相談・教室などを通じて、妊娠期から継続して親の不安や悩み、親子の心身の状況、養育環境などを把握し支援を行うことで、育児の孤立化を防ぎ、乳幼児の健全な育成環境の充実が図れた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	産後ケア事業のサービスにアウトリーチ型を追加し、委託先に府中病院を加え2ヶ所に拡大し、産後の育児負担を軽減する環境を整備した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	子育て支援のスタートである、妊娠期の支援体制を強化した取り組みを行っているが、おやこ広場など、地域の子育て支援拠点との連携を図りながら、市全域の重層的な子育て支援体制づくりが必要である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 母子並びに乳幼児の健康保持及び増進を図ることを目的とするため、継続して実施していく必要あり。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てる環境づくり

事業名	母子健康診査事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、妊婦や乳幼児が健康診査を受診しやすい環境を整備し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを推進することを目的とする。

(事業概要等)

母子保健法に基づき、妊婦健診、産婦健診、乳幼児健診、育児相談等の実施により、疾病の早期発見、親子の健康の保持増進及び育児支援を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	77,886	75,134	81,166	87,972	
うち市負担分(千円)	77,886	75,134	77,784	82,139	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
4ヶ月児健康診査受診率	%	96.6	97.5	98.9	100.0
1歳6ヶ月児健康診査受診率	%	96.4	100.2	96.7	100.0
3歳6ヶ月児健康診査受診率	%	91.6	91.7	94.8	100.0

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

妊娠期から出産、乳幼児期を通し、関係機関と連携し、疾病の早期発見、適切な保健指導及び育児支援を実施することができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、乳幼児健診の実施内容を下記のように変更した。 ・密集を避けるため、呼び出し時間や受付人数を調整。会場レイアウトや動線の変更。 ・集団指導を中止。指導内容についてのリーフレットや啓発動画を作成し、市ホームページ上で公開。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い実施内容を変更した事業について、今後は感染状況を考慮しながら実施内容を調整していく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 親子の疾病の早期発見と支援及び健康管理を目的とするため、継続して実施していく必要あり。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	子育て応援事業	担当課名	子育て応援課
-----	---------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、スマートフォン普及率の高い子育て世代にとって利便性の高い情報について「分かり易く」「探しやすい」スマートフォンアプリケーション及びPCサイトを構築することにより、妊娠・出産・子育てに関する情報発信を充実し、子育て支援サービスの向上を図ることを目的とする。
(事業概要等)
子育て関連情報に関する情報を分かりやすく集約・一元化して発信するため、ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリを提供、運用する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,353	1,234	1,235	1,235	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
アプリの年度末時点通算ダウンロード数	人	4,338	4,692	5,028	5,200
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ポータルサイト及びスマートフォン向けアプリを提供することにより、子育てに関する情報を多様な手法を用いて重層的に発信することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利用者の声等により、掲載情報を修正・更新している。
--------	---------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	掲載情報の鮮度を保つとともに、その内容を充実させていく必要がある。
---------	-----------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) スマートフォン向けアプリでの情報取得は、子育て世代にとって利便性に富みニーズも高いため、継続して運用していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	泉大津駅高架下子育て支援事業	担当課名	子育て応援課
-----	----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちをめざし、多様化する子育てを取り巻く環境に対応するため、泉大津駅高架下用地を活用し育児不安の軽減や解消のための情報交換や交流、相談の場として子育て支援施設を設置することにより、地域の子育て力の向上を支援し、子どもの健やかな育ちを図るとともに子育て世代の定住を促進する。
(事業概要等)
南海本線連続立体交差事業に伴う高架下の公共利用可能空間において子育て支援関連事業等を実施し、その運営を指定管理者へ委託する。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	19,518	19,698	19,947	18,527	
うち市負担分(千円)	12,750	12,820	12,955	11,267	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
延べ利用者(保護者)数	人	5,141	3,268	3,387	4,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
泉大津駅前という立地的優位性を活かすとともに、民間事業者のノウハウを活かした多様なイベント、講座の開催により、市内外から多数の利用があり、子育て中の親子への様々な情報提供、参加者同士の交流を図ることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新型コロナウイルス感染症の影響により、広場事業の緊急事態宣言中の中止や定員制限の設定、換気・消毒の徹底を実施した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	指定管理者において適切に管理・運営できているが、今後も課題の把握に努める必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 指定管理者において適切に管理・運営できているため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(障がい児親の会)	担当課名	子育て応援課
-----	--------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

笑顔で育ち育てられるまちをめざし、障がい児を持つ親、家族同士の情報交換や交流、相談の場としての活動を行っている障がい児(者)親の会を社会福祉協議会とともに支援することにより、家庭や地域の子育て力の向上を支援することを目的とする。

(事業概要等)

泉大津障がい児(者)親の会へ大会開催を委託するとともに、補助金の交付によりその活動を支援する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	326	0	0	336	
うち市負担分(千円)	326	0	0	336	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
会員数	人	47	48	41	45

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

親の会会員の交流が広がるだけでなく、会員以外の行事への参加を呼びかけており、地域住民の障がいに対する理解を深めることにもつながり、社会的な役割を果たしている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成22年度から補助金額見直し(79,200円から70,000円)
--------	-----------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	事業効果を数値化して計ることが難しい。
---------	---------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい児(者)をもつ家庭を支え、障がい児(者)への理解を深めるためにも本団体の活動は有益であり、継続してその運営を支援していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	3	家庭や地域の子育て力の向上支援

事業名	団体等育成支援事業(子育て応援課)	担当課名	子育て応援課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市母子福祉会の活動を社会福祉協議会とともに支援することにより、母子家庭ならびに寡婦が互いに連携をとり、共に励ましあいながら、母子福祉の向上に努めることを目的とする。

(事業概要等)

泉大津市在住の母子家庭ならびに寡婦をもって組織される泉大津市母子福祉会へ母子福祉大会(隔年実施)の開催を委託するとともに、当団体へ補助金を交付することにより、その活動を支援する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	162	120	297	347	
うち市負担分(千円)	162	120	297	347	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
会員数	人	47	43	40	50

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

母子家庭の集い等の会員間や他団体との交流により、同じ立場にある者同士の親睦を深め、情報交換し、悩みを相談しあうなど、生活の安定につながっている。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	補助額を90,000円から120,000円に見直し。(平成24年度)
--------	------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	事業効果を数値化して計ることが難しい。
---------	---------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 母子・父子・寡婦の福祉増進は母子及び父子並びに寡婦福祉法に規定される市の責務であり、本団体の活動も大きく寄与しており、引き続き支援していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	